

学生広報スタッフ
大募集!

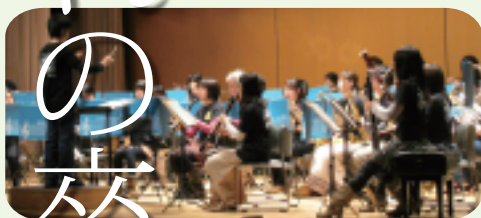
県大 jiman

滋賀県立大学広報誌
第12号012
Jan. 2013

表紙企画・学生企画連動
「それぞれの湖風祭」

特集
県大生がつくる大学広報誌

それぞれの卒業研究



特集

巻頭企画 それぞれの卒業研究

卒業を迎える4回生に卒業研究についてインタビューしました。 2

学生企画 湖風祭を動かす学生力

県大のビッグイベント「湖風祭」をさまざまな取り組みから見てみよう。 6

県大Report

Labo Report

県大jimanな研究室。今回は工学部電子システム工学科コンピュータ工学分野です。 8

Class Report

あの授業はどんな授業?今回は人間文化学部人間関係学科の「臨床心理学」です。 8

After School Report

今回は体育会から球技系クラブを3つ紹介します。 9

Kendai Book Review


今回は「雑口罵乱⑥」と「長浜曳山まつりの舞台裏」を紹介します。 9

トピックス&インフォメーション

県大イベントカレンダー 10

「県大 jiman」について

琵琶湖と滋賀の自然をイメージカラーにし、胸を張って「自慢」する、明るく前向きに応援する気持ちをロゴにデザインしました。

 滋賀県立大学

The University of Shiga Prefecture

それぞれの卒業研究

大学4年間の学びの集大成となる卒業研究。県大生のみなさんはどのような研究をしているのでしょうか？
 いろいろな学科の卒業研究を探るため、卒業間近の4回生にインタビューを行いました。
 県大生の卒業研究を覗いてみましょう！



子どもたちの研究を通して —看護の現場で活かしたい—

人間看護学部人間看護学科
 (写真右から)
 細川 美佳さん(鬼頭研究室)
 井戸 祥平さん(古株研究室)
 岡田 裕美さん(古株研究室)



■ゼミを考え始めた時期

細川 人間看護学科では3回生の12月ごろにゼミ希望を出して、2月ごろには決まります。ゼミ配属は4回生からです。でも4回生の5月までは病院とか保健所での実習があつて、本格的に卒業研究に取り掛かるのはその後になります。私たちは、3人とも小児看護ゼミに所属していて、子どもとその家族の看護について研究しています。

■研究の内容

細川 私は、入院している子どもの遊びについて、看護学生がどのように認識し、またどのような遊びの援助を行ったか研究しています。

井戸 僕は、入院している子ども同士が友だち関係になることで、入院生活がどのように変わるのかを研究しています。実際にいま入院している子どもを対象にすることは難しいので、入院経験がある人にヒアリング調査をしています。

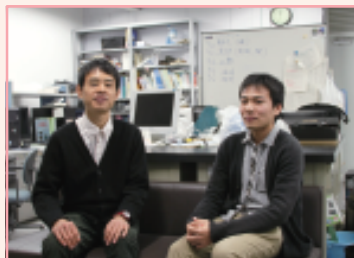
岡田 私は、病気の子どもの兄弟



まだまだ男性が少ない環境。女性との接し方も身につけました(笑)。

ものづくりの原点 —原因を考察し、考えること—

工学部機械システム工学科
 (写真右から)
 浅間 浩明さん(南川研究室)
 田淵 嵩登さん(南川研究室)



■ゼミを考え始めた時期

浅間 機械システム工学科では、3回生の3月ごろにゼミが決まって4回生から所属します。3回生の9月に研究室体験ができる制度もあります。僕たちは同じ流体工学研究分野のゼミに所属しています。

田淵 僕は飛行機が好きで高校生の時から流体工学のゼミに入ろうと決めてました。

浅間 早い！僕は3回生の後期から考え始めたかな。

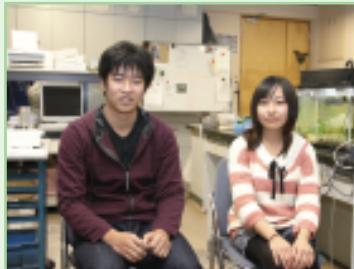
■研究の内容

浅間 僕はマイクロチューブという髪の毛と同じくらい細い管に、空気と水を一緒に流した時どういう流れになるかを研究しています。例えば、電化製品を使っていると熱くなってきたよね、それを効率的に冷やす機器をより小型化、軽量化するための取り組みです。これから医療や化学などの分野にも応用が期待できます。実験では、実際にマイクロチューブに気液を流してそれを高速度カメラで撮影し、その映像をスロー再生して、泡の大きさなどを測定しています。

田淵 僕のテーマはマイクロバブルによる水質浄化の研究で、バブルを噴射して水をきれいにするものです。最終目標は琵琶

計画を立てて、主体的に動く —環境への取り組みを続けたい—

環境科学部環境生態学科
 (写真右から)
 田中 惟さん(籠谷研究室)
 近藤 直彦さん(籠谷研究室)



■ゼミを考え始めた時期

田中 環境生態学科では、3回生の後期からゼミに所属します。

いくつて感じですね。

田中 3回生の夏休み前に研究室の説明があつて、その後に全員の先生の研究室を回って話を聞きに行きました。それまでは友だち同士でどこにする？とか探り合っていましたよ。

■研究の内容

近藤 僕は森林の蒸散量について研究しています。蒸散の仕方は樹種によって違うので、それを一つひとつ調べて気象との関係性を調べています。例えば、木からの蒸散量が全くなかったらどれだけ水が河川に流れるのか。水がいっぱい流れ出たら河川が洪水になってしまいますよね。そういった関係を考ええています。

田中 私は、もともと水や琵琶湖に関心があつたけど、フィールドワークの授業を受けて、やりたいことが変わったかな。今は地球温暖化に興味があつて、温暖化ガスをテーマにしています。里山林の整備をする場合と、しない場合とを比較して、土壌

に対して、なぜ入院しているのか説明をする時の理解度が、看護学生と他学部生ではどう違うのかを調べています。

井戸 僕と岡田さんは同じ古株研究室でもテーマは全然違います。進み具合などの情報交換はしていますよ。

■研究を通して成長したところ

細川 研究は先生から言われてやるんじゃないなくて、自分のペースでやることを意識していますね。

岡田 そう、だから自主性や計画性が身についたかな。

井戸 調査では自分が考えていた結果と違う結果が出ることもある。そのことで、こういう考え方もあるのかと考える幅が広がっていったと感じています。

岡田 私はテーマに関して文献をたくさん読むことで、学びが深まったし知識が増えたと思います。何でもよく考えるようになります。

細川 きっと働く時に活かさせて。

井戸 卒業研究はこれまでの勉強のまとめというより、今後の臨床に活かせるように、って感じですね。勉強のまとめはやっぱり国家試験です。

■先輩にアドバイス

細川 卒論のテーマは早めに決めたほうがいい！私は結構悩んでしまったので。

岡田 一人で迷っていてもダメだし、早めに先生に相談に行ってみるのもいいかも。

細川 確かに。色々な方向性をアドバイスしてもらえると
思う。

岡田 勉強で言うと、1回生で勉強する科目は大切。しっかりと取り組めば実習でも困らないはず。

井戸 あと、ストレスを溜めないように楽しく気分転換することも大切ですね(笑)。

■これから看護師になるにあたって

みんな 入学前から目指していた看護師ですが、できれば小児看護の現場で力を発揮できたいですね。



文献を探したり、アンケート調査の仕方を勉強したり。

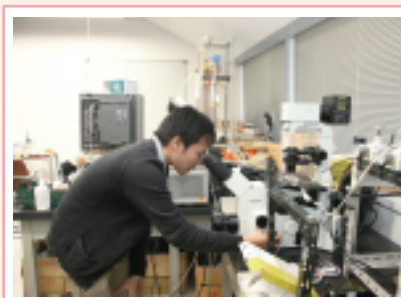
湖の水をきれいにしたいと考えています。データとして必要なマイクロバブルの気泡径の測定は、すでに3000個を越えています。

浅間 実験・測定は単純作業の繰り返しです。でも、研究自体が教科書などに載っていない、新しい発見をしていくことなのでとても大切な作業ですね。

■研究を通して成長したところ

田淵 実験していて自分が思うような結果が出なかった時に、なんでこうなったのかなと原因を考察する習慣ができました。これは物事を自分で考えられるという力につながっていると思います。

浅間 すばらしい答え！あとは発表する機会が増えて、伝える力がついてきたかな。もししたらうまく伝えられるか、理解



マイクロチューブに気体と液体を流し、その流れを見る。

してもらえるか。

田淵 確かに。専門分野が違っても「マイクロバブル」と言ってもうまく伝わらないこともあるので、聞く人によって発表の仕方を変える必要がありますね。

■先輩にアドバイス

浅間 とにかく英語を勉強しておいたほうがいい！参考文献や論文は海外のものが多くて、英語ができないと論文が理解できない！

田淵 やっぱ興味を持って実験をやってほしいですね。単純作業は飽きてしまいがちですが、何事も興味を持って取り組むと気づくことも多いと思います。

■大学院に進学、その後

浅間 将来は、研究所などで流体の研究を続けたいですね。

田淵 僕は飛行機や車の開発に携わりたいです。



マイクロバブル発生装置。「3,000個以上のサンプルを採ります。」

からの温暖化ガスの発生がどれだけ違うかを測定しています。

近藤 最初は漠然と植物や水など色々興味があったけど、授業を受けていく中で、最終的に今の研究テーマに繋がっていきました。

■研究を通して成長したところ

田中 自分からこうしようって計画立てて動いて

いかないとも始まらないので、主体的に動くようになったと思います。

近藤 確かに。あと収集したデータが山のように増えていくので、それをいかにうまくまとめ、わかりやすく伝えるか。研究を進める中で少しずつ身につけてきたかなって思いますね。

田中 自分が発表するときにはもちろんだけど、他の人の発表を聞いて勉強になることも多いです。

近藤 あと、山での観測を経験して、2人ともたくましくなりましたね(笑)。

■先輩にアドバイス

田中 特に植生を研究のテーマにする場合は、季節のこともあるので早めに考えて動くことですね。

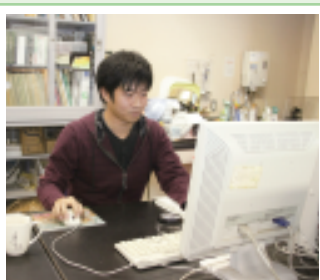
近藤 そう。僕は夏から調査を始めたので、春の時期のデータがあったらもっとおもしろい結果になったかも知れないです。

田中 レポートが多くて大変かも知れないけど、書くうちに文章力がつくので、一つひとつ大切にしてほしいです。

■これからの目標

近藤 就職は環境への取り組みに熱心な企業を選んだのがんばりたいですね。

田中 私も！今後も環境への取り組みに関わりたいですね。



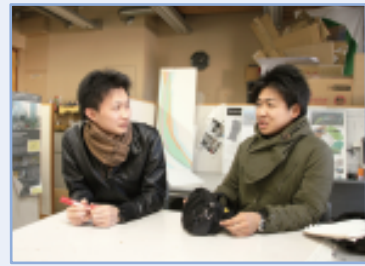
データ整理も重要です。



調査で採取したガスを分析装置で分析します。

楽しみながら研究しよう —いつか自分の手で設計を—

環境科学部環境建築デザイン学科
(写真右から)
松井 涼さん(陶器研究室)
西堀 弘樹さん(高柳研究室)



■ゼミを考え始めた時期
松井 環境建築デザイン学科では、3回生の後期にプレゼミとして研究室を選びます。配属は4回生からです。僕は構造の研究がたくて、3つある構造系ゼミからの陶器研究室を

選びました。
西堀 僕も3回生の夏ごろに意匠系設計のゼミにしようと思った。高柳研究室を希望する人が多くて、話し合いをしましたね。

■研究の内容

松井 テーマは移動型牧場の設計です。河川敷に牧場を建てて、牛に草を食わせて除草するという構想です。5月ごろに牧場の設計がしたいなと思い始めて、9月ごろに今のテーマに決めました。

西堀 僕は琵琶湖の上に住宅を建てて、ヘド口を掃除しながら生活する循環型の住宅の設計を考えています。船のようなイメージで、ある程度ヘド口がなくなったら次へ移動する住宅です。テーマが固まったのは4回生の夏ごろかな。建築デザイン学科の卒業研究は、論文形式でまとめる人もいるけど、僕は設計・制作です。

松井 模型も制作しますが、今回の研究では環境に優しい構造物の提案もしていますので、その試作や強度実験もします。



普段はパソコンが必需品ですが、構造物の強度を測る実験もします。

■研究を通して成長したところ

松井 先生に自分の案を伝えて欲しい意見をもらう時もあるのですが、自分のやりたいと思ったことは曲げずに取り組むようになりました。

西堀 テーマはもろろん計画も全一から考えないといけないので、考える力がついたらと思います。あと、

いろんなことに挑戦してみる —行動しないと、何も始まらない—

人間文化学部地域文化学科
(写真右から)
村尾 真優さん(定森研究室)
大西 遠さん(定森研究室)



■ゼミを考え始めた時期
村尾 地域文化学科では、3回生前期からゼミに所属します。2回生には、プレゼミがあって前期・後期で2つのゼミを体験できます。私はプレゼミで今の研究室を選んで考古学に

興味をもちました。
大西 僕は2回生の時に考古学の研究会に参加して、その流れでここまでできたかな。高校の先生と県大の考古学の先生とが知り合いだったのが、考古学との出会いですね。

■研究の内容

村尾 私は4回生の初めにテーマを決めました。初めは滋賀県の横穴式石室に興味があったけど、最終的には古代エジプトのお墓の構造を研究しています。

大西 僕は滋賀県で古墳時代の須恵器っていう土器がどう伝わって広がっていったのかを研究しています。テーマは3回生の後期にはだいたい決まっていたかな。

村尾 私は古代エジプトが研究のフィールドなので、県大に資料がありません。他大学の研究室でもお世話になっています。

大西 僕は自分の研究だけでなく行政が行っている発掘調査の現場にも行っています。大学で学生が発掘に関われる機会はほとんどないので、いい勉強になっています。

■研究を通して成長したところ

村尾 自分で行動しないと、何も始まらないってことを実感しました。また、他大学の先生に話を聞きに行く経験を重ねる中で、いろんな人と積極的に接することができるようになりましたね。

大西 考古学って過去のモノとか遺跡を対象にするんですが、実際の調査は、いろんな人の協力があって進んでいく。発掘現場に行くことでいろんな人と関わる機会ができたのは財産ですね。あとは、研究するにも体力が必要ですよ。

感謝の気持ちを持って —卒論は一人で書けるものじゃない—

人間文化学部生活栄養学科
(写真右から)
寺岡 しおりさん(奥村研究室)
中村 絵里さん(岡本研究室)
岡村 実咲さん(灘本研究室)



■ゼミを考え始めた時期
寺岡 生活栄養学科では、4回生からゼミに所属します。3回生の11月ごろにはどの研究室に入りたいか決める人が多いと思います。毎年2月に4回生の卒論発表会があるので、先輩方の発表を聞くことで研究内容を知ることができます。いろんな分野の研究室があるので、個別にゼミを訪問して決めていきます。

■研究の内容

寺岡 私の研究は、県内の病院に協力してもらい、健康診断を受けた人を対象に、運動方法や食事の指導について考えています。指導を実践してもらった結果、どう健康に影響があったかなどを研究しています。

中村 私は子どもの食育に興味があって、特別支援学級で料理教室と食育教室の授業を開いています。一緒に料理を作ったり、子どもたちが食について学んでいくことで、生きる力がどう向上していくのかを研究のテーマにしています。

岡村 私は食品と冷え性の関係の研究していて、ココアを摂取した時の体温の変化を調べて、ココアの成分による冷え性の改善について実験をしています。

■研究を通して成長したところ

岡村 実験に参加してくれている人には、本当に感謝ですね。実験って構えずにリラックスして参加してもらったために、ちょっとした気遣いも大切だなと実感しました。



研究室の先生はお母さんみたいな存在かも。

食育の教室をするときに説明に使う野菜たち。

コラム① 研究室って？卒業研究って何？

大学では1,2回生で基礎的な勉強に取り組み、3,4回生でより専門的なことを学ぶために先生の研究室に所属します。研究室のゼミでは、先生の専門分野を中心に、各自テーマに応じた研究を進めていきます。配属の時期や方法は学科によってさまざまです。

大学生活4年間の学びの中で、身につけた力を1つの研究を通じて発表するものが「卒業研究」で、県大では全ての学科で必修。この「卒業研究」は、論文として成果をまとめる「卒業論文」と、作品を創り上げる「卒業制作」の2つに大きく分けることができ、文献調査、フィールド調査、実験測定など、それぞれ学科の特性やテーマに合わせて研究を進めていきます。

まさに集大成となる「卒業研究」。大学生活最後の一大番として、全力で取り組んでいます。

コラム② 卒業するには？

県大を卒業するには、4年（以上）在学し、所定の授業科目を履修、卒業に必要な単位（およそ130単位、学部によって異なる）以上を修得。

また、4年制の大学を卒業すると「学士」の学位が授与されます。大学院では「修士」、さらに「博士」と上位の学位もあります。

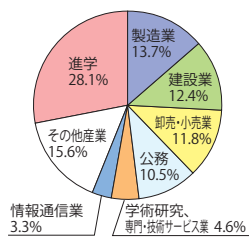
3月の卒業式では、「卒業証書・学位記」がその証として一人ひとりに授与されます。

コラム③ 卒業後はどんな進路に？

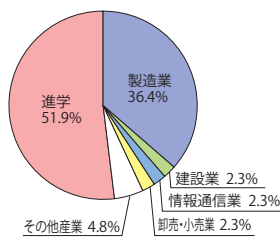
大学を卒業後は、就職をする人、大学院へ進学する人などそれぞれですが、県大の状況は円グラフのとおりです。これを見ると、環境科学部と人間文化学部はさまざまな業種へ就職し、工学部は半数が大学院へ進学、人間看護学部は、ほとんどが医療分野へ就職しています。

<産業別就職状況進路状況>

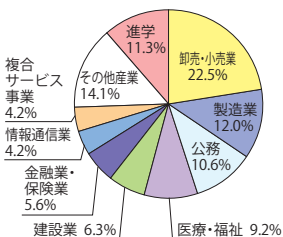
■環境科学部



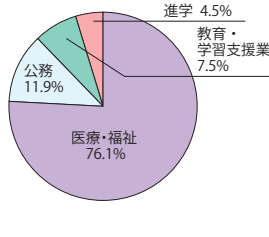
■工学部



■人間文化学部

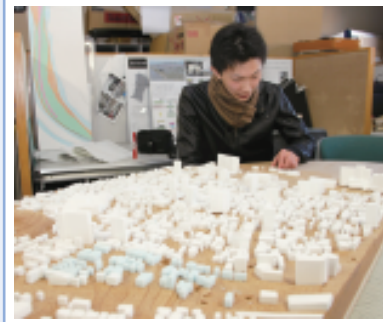


■人間看護学部



※平成23年度卒業生情報

■これからの目標
松井 建築会社に就職するんですが、夢はサッカー競技場の建設です。自分が建てた競技場で試合が行われたら：なんて考えます。
西堀 僕は、知り合いや家族に「あれ俺が建てたんやで」って言いたいですね。



発表に向けて模型も作ります。

■先輩にアドバイス
松井 自由に研究テーマを選べるので、自分の興味がある建築をテーマに選べば、卒業制作も楽しく取り組みます。
西堀 うん、やっぱり大変なこともあるので、逆に楽しむぐらいの気持ちがいいと思います。
松井 きつと徹夜になっても苦にならないはず（笑）。
西堀 研究するのもメンタルとか体力が必要ですね！

人前で発表する力も。卒業研究でも中間発表などの機会がありますよ。
松井 1回生の時から設計演習などの授業で、学年全員の前で発表することが多かったので、緊張はあまりしなくなりました。これは就職の面接でも活かされた点ですね。

■大学院に進学、その後
村尾 若いうちにやりたいことはやっておきたいので、大学院で研究を続けます。将来は教員もいかな。
大西 将来は行政の文化財課とか考古学に携われる仕事を経て、自分の研究を継続しながら、最終的には研究者になれたらいいですね。



土器の縮尺を測って図面を描きます。

んなことに挑戦してみたい。経験が増えるし、それによって研究テーマも広がっていくかなって思います。僕も初めから考古学だけに興味があったわけではなく、気がついたら考古学ゼミに入っていました（笑）。



地面の高低差の測量も大切な技術です。

■先輩にアドバイス
村尾 私は2回生までになるべく単位を多く取って、3回生からは研究に打ち込もうと思ってたけど、なかなかテーマが決まらなかった。授業ばかりじゃなく、1・2回生のうちから少しずつ何を研究したいのか考えておくほうがいいと思います。
大西 おもしろそうと思ったらフットワークを軽く、いろんなことに挑戦してみよう。

■これからの目標
寺岡 私は研究テーマを活かせる病院の管理栄養士として働く予定です。
中村 私は滋賀県の栄養教諭として食育に携わりたいと思います。
岡村 私ドラッグストアの管理栄養士ですが、まずは3月の国家試験合格ですね！



いい香りと思ったらココアパンで実験中。

■先輩にアドバイス
寺岡 したいことを絞って行動する。自分のしたいことはちゃんと意思表示したほうがいい！私はおかげで先輩方に早いうちからゼミ活動に誘ってもらえました。
中村 私は食育推進隊って活動をしていて、子どもと関わったり地域の栄養士の方とも出会える機会があったので、いろんな活動に参加するのいいと思います。
岡村 私は授業の一つひとつちゃんと受けるとか、やっぱり積み重ねが大事だと思っていますね。4回生になったら卒論と就活と国家試験の勉強が待っていますので。

寺岡 研究って一人でできるものじゃないんです。いろんな人に協力してもらっているんで、感謝の気持ちを忘れてはいけないと思います。
中村 私も食育イベントをする中で、お手伝いをお願いすることが多くあって、声かけする大切さがわかりました。

企画

来場した皆さんに楽しんでもらうため、たくさんの企画を準備!企画担当者は「なかなか予定通りに進行できず大変ですが、お客さまの反応を直接感じることができるので嬉しい」と語ってくれました。



ステージ企画
「花咲く僕らの友情選手権」の様子



パンフレット

湖風祭の魅力がぎゅっと詰まったパンフレットを作成します。「大量の原稿を集めたり、編集など大変なことも多いですが、最後に形に残るので、やりがいを感じる」とのこと。

会場の飾り付けも全て実行委員が行います。

準備

湖風祭の前日には、実行委員をはじめ、たくさんの学生が本番に向けて準備をしています。ここでは一部ではありますが、実行委員の仕事をご紹介します☆



ステージの建設やテントの設置も学生を中心に行います!

未来看護塾 ちびっこ広場

未来看護塾は、地域の子どもたちから高齢者の方々、障がいをもつ子どもたちや入院患者さんなど幅広い方々に、心も身体も生き活きと健康になっていただくために、さまざまな活動を行っています。湖風祭では、子どもを対象とした、アートバルーンや輪投げ、手作りの魚釣り、射的などを企画しました。子どもたちと一緒に湖風祭を回ってお昼ごはんを食べたり、たくさんの笑顔を見ることができ、私たちも楽しい時間を過ごすことができました。



Big×Band部 Endless Carnival

Big×Band部は、メインステージにて毎年1時間の枠の中で3バンドが出演しています。「お客さんにも楽しんでもらう、足をとめて聞いていただく」という気持ちでエンターテインメントを大事に、ライブをしています。練習は各バンド週1回程度で、その時間の中で、演奏曲の選考や曲順、MCやライブの流れを話し合うので、1回1回の練習がとても貴重です。ハードな練習は大変ですが、みんなで作り上げたライブはとてもキラキラしていて、どれだけ疲れていても、本当に楽しく、大切な時間です。



湖風祭で出たゴミは実行委員の手で全て再分別されます。

湖風祭を動かす学生力

県大の一大イベントである湖風祭。たくさんの学生が協力し合い、誰もが楽しめる学園祭を創り上げます。普段の練習や研究の発表の場でもあるので、どの団体も一生懸命。そんな湖風祭を裏から支える「湖風祭実行委員」の活躍と、学生のパワー溢れる取り組みを紹介します。

ステージでの迫力ある演出



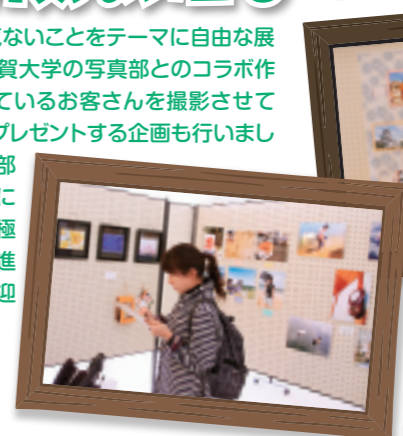
Living design 16th fashionshow

生活デザイン学科では、毎年3回生が中心となってファッションショーを行います。服の制作では、1着に何日もかかったり、完成間近で失敗に気付いたり、トラブルもありました。連絡ミスやメンバーの予定の調整など、団体で1つのことをやることも本当に難しかったです。しかし、先生方や協力してくれた学生など、皆さんのおかげでとても良いものになったと思います。このメンバーでファッションショーができて本当に良かったです。



写真部 特別な日も、何気ない日も

写真部では、特別なことや何気ないことをテーマに自由な展示方法で表現しました。また、滋賀大学の写真部とのコラボ作品の展示や、当日湖風祭に訪れているお客さんを撮影してもらい、その写真を展示したり、プレゼントする企画も行いました。個人で自由に展示したので、部全体でのまとまりをどう出すかに苦労しましたが、メンバーで積極的にアイデアを出して準備を進めることができ、無事に当日を迎えることができました。



人間関係学科 お化け屋敷



人間関係学科では、毎年恒例のお化け屋敷を行いました。2回生を中心に、先輩や後輩と助け合いながら、お客さんに喜んでもらえる企画にしようと頑張りました。どのような仕掛けを作れば、お客さんを驚かすことができるのか苦労しましたが、全員で検討を重ね、とてもいいお化け屋敷を作り上げることができ、たくさんのお客さんに来ていただきました。全員で1つのことに向かって頑張ることの素晴らしさを実感することができました。



「ゴミ」は、色によって食べるゴミが違います!



ラーメンがっつう お塩浩太郎

私たちは環境政策・計画学科の有志の集まりで、「お塩浩太郎」というまぜそばを販売しました。「お塩浩太郎」とは、県大OBさんが経営されている彦根のラーメン屋「ラーメンにっこう」さんの人気メニューです。お店の方と学科の先生や学生とのつながりから、秘伝のレシピによる模擬店出店が実現しました。準備では材料調達が大変で、当日の売れ行きや、調理器具の手配をしながら、何度も相談を重ねました。調理も大変で休む暇もありませんでしたが、「お塩浩太郎」のネームバリューのおかげもあり、大繁盛でした。



後片付け

湖風祭に参加した他の団体もそれぞれの後片付けをしますが、中心となって動く実行委員。いつもの県大に戻すべく、総動員で一心不乱に片付けます。



エンディング

エンディングでは、実行委員OBの協力あって、花火の打ち上げやレーザーショーで華を添えます。卒業しても、湖風祭に駆けつけていただける場所にも、湖風祭の魅力がありますね。

環境・ゴミ

「環境」にも配慮して行われる湖風祭。ゴミ箱「ゴミら」のそばに実行委員が立ち、分別が徹底できるよう案内しています。他にも「Myはし」や「DRP」といった活動に取り組んでいます。

※Myはしとは、おししを持参して、何度も使うことで、割りばしの無駄を省こうという活動。
※DRPとは、洗ってくり返し使えるお皿を使用することで、ゴミの削減に取り組む活動。

Labo Report

工学部 電子システム工学科 コンピュータ工学分野

コンピュータ工学分野は情報系の研究分野で、人工物のライフサイクル設計、医用画像の解析・診断支援など、コンピュータを駆使した研究を推し進め、私たちの生活を豊かにすることに貢献しています。

人工物のライフサイクル設計による環境負荷低減

人工物とは、自動車や家電製品などの工業製品、建造物など、人間が人工的に作りだしたものの総称です。石油や鉱物などの地球資源の枯渇、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガス排出量の増加に伴い、環境への負荷の小さい製品が注目されています。ハイブリッド自動車はその一例です。しかし、そのような自動車がどれくらい環境への負荷が小さいのかは簡単には判断できません。自動車は、エンジン・ボディ・タイヤなど数多くの部品から構成されています。またそれらは、鉄・アルミ・ゴムなどの地球資源から製造されており、それらの消費に伴う環境への影響を考える必要があるからです。

人工物のライフサイクル設計では、資源の採掘から廃棄まで人工物のライフサイクルを考慮した製品設計とその製造に関する研究を行っています。この研究によって、地球資源とエネルギーの極限的な有効活用ができるようになります。

健診を対象とした眼底画像の診断支援システム

医用画像とは、病気の診断や検査などのために撮影される画像の総称です。近年は、病気の早期発見のために、人間ドックや特定健康診査などの集団検診において画像診断が行われています。しかし、画像診断の件数が急増したことによって医師への負担が増えています。

眼底画像は、検診目的で撮影される医用画像の1つです。眼底画像の撮影枚数は、人間ドックで選択検査から必須検査に変わったこと、および特定健康診査で詳細な検査項目とされたことなどによって増え続けています。そこで、本分野では、眼底検査において撮影される眼底画像から、糖尿病などの病変を自動検出する画像認識手法について研究開発しています。さらに、眼底画像を解析することによって、被験者の緑内障のリスクを推定する研究も行っています。これらの研究によって、医師の画像診断の負担を軽減できるようになります。



研究室DATA

教員: 奥村 進 教授 (C6-305)

畑中 裕司 准教授 (C7-308)

学生: 学部 4 年次学生、大学院生 (C7-307)

Class Report

臨床心理学

こころを使って人の役にたつ方法を学ぶ

人間文化学部人間関係学科専門科目
担当教員: 松嶋秀明 准教授

「臨床心理学」という名前をお聞きになったことが一度くらいあるのではないのでしょうか。

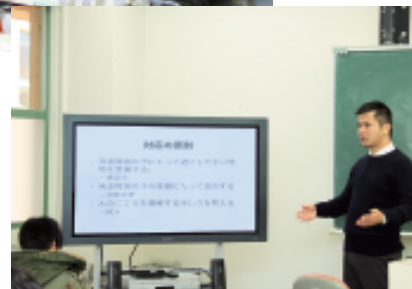
人間文化学部人間関係学科に入学してくる学生の多くが、心理学をやりたいというのを志望理由としています。少数の例外はいるのですが、彼、彼女らの多くが考える「心理学」とは、たいてい「カウンセラーになりたい」「自分の問題を考えたい」といったニーズにかなうような、いわゆる「臨床心理学」のことを指しています。

臨床心理学というのは、単なる学問ではありません。学問体系ができる以前から、悩み、生き辛さを感じた人に対して、お話しすることを通して援助するという活動があります。これを抜きにしてこの学問はありません。そういうこともあってこの授業では、相談にこられる方々の状態を仮想事例として提示し、受講生には、それに対してどのように援助すればいいのか



考え、発表しあうところから始めてもらいます。この学問内容を、単に知識を蓄えるというのではなく、身体を通して知ってもらうというのが本講義の狙いとするところです。

毎年の受講生は30人前後で、多様な意見を出してもらうため、受講生一人ひとりに感想や質問を書くノートを配布し、次の授業ではそれに返事を書くとともに、有用な質問については教室全体でシェアするようにしています。こうすることで分からないところをそのままにせず、多様な意見にふれる機会をつくることを心がけています。



▲発達障がいについて学ぶ

硬式野球部

硬式野球部は、京滋リーグ2部優勝、1部昇格を目指して日々活動しています。平成21年度秋リーグでは、念願の2部優勝を果たしましたが、1部昇格をかけた入れ替え戦で惜しくも負けてしまいました。

現在は部員15人、マネージャー5人と決して多くはないですが、楽しみながら、しかしやる時はしっかりやるという雰囲気の良いチームです。部活としてできる野球は大学生が最後なので、試合で勝つということだけでなく、いい思い出ができることも大切にしながら今後も活動を続けていきたいと考えています。現在は春のリーグに向けて冬の練習に取り組んでいます。今度のリーグでは良い結果を残せるように全力でプレーしたいです。応援よろしくお祈りします。



フットサル部



フットサルは近年、Fリーグの開幕や三浦知良選手のW杯出場に伴ってフットサル人口が急激に増加してきており、今一番、注目されているスポーツの1つです。

現在の部員はマネージャーを含め27人で活動しています。滋賀県フットサルリーグでは1部に所属し、関西学生リーグでも1部に所属しています。チームの合言葉である「ガンバッテガンバッテキモチキモチ」をもとに、どちらのリーグも優勝を目指して日々練習に励んでいます。また、練習以外にも夏合宿やバーベキュー大会、忘年会、などでも楽しく盛り上がっています。この盛り上がりにあなたも参加してみませんか？興味のある人はぜひぜひ体育館まで練習を見に来てください。

バドミントン部

バドミントン部は、毎週火曜日と水曜日、金曜日に体育館で活動しています。部員数は50人以上の大所帯。個性的な仲間たちが練習に励んでいます。

春には「京都リーグ」や「関西リーグ」などがあり、リーグでの昇格を目指し日々練習しています。もちろんリーグ戦で勝つことを目標に練習していますが、それと同時に全員がバドミントンを楽しむことができる雰囲気を作ることも大切に活動しています。

さらに夏、冬には合宿等のイベントがありバドミントン部全体で盛り上がっています。部員は経験者だけでなく初心者もたくさんいます。興味のある人はぜひ体育館に足を運んでみてください。



Kendai Book Review

「ざっくばらん 雑口罵乱⑥」

企画/編集: DANWASHITSU
(環境科学部環境建築デザイン学科学生有志)
出版: サンライズ出版

DANWASHITSUは学外から社会で活躍されている講師をお招きし、講演よりも距離の近いレクチャーの企画運営をしている学生団体です。

編集活動も行っており、今年は2011年度の講演をまとめた雑口罵乱⑥を刊行しました。建築家をはじめデザイナーやキュレーター等、様々な職種の多様な活動を講演の雰囲気そのままに書籍化しました。学生による東日本大震災の復興活動や教授陣のコラムなども加わり、盛り沢山な内容になっています。

学内は勿論、学外にもコアな雑口罵乱ファンが存在するとか。ぜひ一度手に取ってみて下さい！



「長浜曳山まつりの舞台裏 —大学生が見た伝統行事の現在—」

編著: 市川秀之・武田俊輔(人間文化学部地域文化学科教員)
著: 滋賀県立大学曳山まつり調査チーム(人間文化学部地域文化学科学生)
出版: サンライズ出版

日本三大山車祭の1つに数えられる長浜曳山まつり(滋賀県長浜市)ですが、狂言(子ども歌舞伎)やシャギリ(囃子)はどのように伝承されているのか、その練習段階から密着、本番までの知られざる舞台裏をレポートしています。さらに、調査チームは法被姿でシャギリの列に加わって長浜八幡宮に参拝する「裸参り」にも参加、実際に冷水を浴びる体験をするなど、観客の視点では語れない「まつり」の魅力を伝える内容となっています。

16名の学生が調査員として各自の体験と視点で書き上げた、曳山まつりの入門書として手軽に読める1冊です。



Topics & Information

TOPICS 01

皇太子さまが 来学されました

平成24年7月23日、第48回献血運動推進全国大会ご臨席および地方事情ご視察のため、皇太子さまが滋賀県に行啓され、本学にも来学されました。

大田理事長・

学長がお出迎えし、その後、本学の特色の一つである地域教育プログラム「近江楽座（おうみらくざ）」についてご視察いただきました。

始めに印南比呂志人間文化学部教授がプログラム全体の概要をご説明し、続いて各プロジェクトの代表学生がそれぞれ活動の紹介や成果などをパネル展示とともに発表いたしました。

皇太子さまにおかれましては、熱心に学



▲大田理事長による案内

生の声に耳を傾けられ、プロジェクトでの苦労した点など多くのご質問をいただくとともに、「地域に密着した、とてもいいプロジェクトですね。」と励ましの言葉をお掛けいただきました。



▲学生による活動報告

TOPICS 02

共通講義棟・ 同窓会館が 完成間近

平成24年7月より工事中の共通講義棟・同窓会館が完成間近を迎えています。

今回建設される共通講義棟・同窓会館の基本設計は、建築デザイン学科の学

生によるコンペで決定されました。大きな特徴としては、建物全体に木構造を採用し、使用する木材のほとんどを滋賀県産材とすることにより、地域産木材の地産地消を実現していることであり、木造建築の意義や技術的な手法、建築コストなど、それらのモデル的、先導的なケースとなっております。



▲完成予想図

建物内には、100人程度が学べる中講義室が2室と、学生が自由に学習できる自習スペースのほか、語学教員室や同窓会事務室があります。場所的には、バス停や北側駐車場に近く利便性の高い交流センターの東隣りです。



▲工事中の様子

TOPICS 03

海外大学との協定締結

本学では、海外の多くの大学等との間で、大学間交流や学術交流協定を結んでいます。平成24年9月から12月の間に新たに次の4大学と交流協定を締結し、全部で25大学となりました。今後さらに10大学との締結に向けて準備を進めています。

- オーバーン大学モンゴメリー校（アメリカ合衆国・アラバマ州）
平成24年9月19日（学術交流に関する一般協定）
- 光云大学校（大韓民国・ソウル市）
平成24年9月28日（一般協定および学生の相互派遣に関する覚書）
- リール政治学院（フランス・リール）
平成24年10月9日（学術交流に関する一般協定）
- カリフォルニア州立大学モンテレイベイ校（アメリカ合衆国・カリフォルニア州）
平成24年11月6日（学生交換協定）

TOPICS 04

東近江市、米原市と それぞれ連携・協力に関する 協定を締結しました

これまで、市の審議会への参画や学生活動のフィールドとして、また本学の地域再生人材養成プログラムである「近江環人地域再生学座」への市職員派遣など、産業文化、まちづくり等のさまざまな分野で、相互に、人的・知的資源の交流・活用を行ってきた東近江市および米原市と、新たに本学との相互の連携・協力に関する協定を締結しました。彦根市、近江八幡市、長浜市

に続く協定となります。



▲東近江市との協定（H24.9.6）



▲米原市との協定（H24.12.27）

TOPICS 05

田の浦復興ワカメが 食堂で提供されました



▲ワカメメニュー

平成23年秋より協同で養殖し、平成24年4月末に収穫したものを湯通し塩蔵加工し、今月初めて出荷されたものです。

このイベントは、本学の学生や近江環人の修了生を中心とした「環人ネット」の会員が継続的に支援活動を行ってきた宮城県南三陸町田の浦地区との交流の中で生まれたもので、「食」を通じて被災地と学生との支援を越えた人のつながりを実現するために企画されました。

平成24年10月10日〜19日の間、学生食堂において、東日本大震災で大きな被害を受けた三陸産のワカメを使ったメニューが提供されました。このワカメは、田の浦で漁業を営んできた漁師たちが

平成23年秋より協同で養殖し、平成24年4月末に収穫したものを湯通し塩蔵加工し、今月初めて出荷されたものです。



▲支援活動のパネル展示

TOPICS 06

産業界のニーズに対応した 教育改善・充実体制 整備事業に採択されました

平成24年度文部科学省が実施する同事業に本学が連携している滋賀県・京都府・奈良県の16大学で申請した取り組み「滋京奈地区を中心とした地域社会の発展を担う人材育成」が採択されました。今後、本学の所属す

る部会では、京都産業大学を中心とした7大学により「産業界等との連携ならびに実施推進体制の整備」に取り組み、各大学との情報共有や意見交換により連携を図っていきます。また、キャリア教育の

充実のため新たに「キャリアデザイン論II」の科目を新設し、社会や企業が求める実践的なコミュニケーション技法を学ぶ機会を提供するとともに、一層のインターンシップ（就業体験）参加に向けたいサポートを進めます。

受賞・表彰

◆個人（教員等）

- 深見 茂 名誉教授
平成24年秋の叙勲 瑞宝中級章
- 曾我 直弘 前理事長・学長
平成24年度滋賀県文化賞
- 環境科学部 陶器 浩一 教授
日本建築家協会賞
- 環境科学部 泉 泰弘 准教授
第10回日本作物学会論文賞
- 環境科学部 入江 俊一 准教授
日本学術振興会 平成24年度科研費審査委員表彰

◆個人（学生）

- 大学院環境科学研究科博士前期課程
1 回生 辻 博子さん
1 回生 丸山紗千代さん
- 日本計画行政学会第35回全国大会優秀発表賞
- 人間文化学部 4 回生 辻中 輝さん
OCC 学生広告賞 準グランプリ
- 人間文化学部 3 回生 平田このみさん
NDK 第54回新人デザインコンテスト
京都織物卸商業組合賞
- 人間文化学部 3 回生 高橋 志帆さん
同 佳作
- 人間文化学部 4 回生 山崎 晃代さん
びわこ子エコCMコンテスト最優秀賞
CMアイデア大賞
- 環境科学部 1 回生 石森 結衣さん
1 回生 村瀬 文映さん
同 優秀賞

◆個人（クラブ）

- ヘインドサーフィン部 4 回生 永野 祐大さん
Boracay World Championship 2012
- 工学部 22歳以上男子の部 3 位
3 回生 鈴木 郁也さん
- 工学部 関西選手権第2戦優勝
年間ランキング 3 位
- 環境科学部 3 回生 津川 隆寛さん
関西選手権第3戦 3 位

◆団体（学科・クラブ等）

- 環境科学部 1 回生 森 祐太さん
関西冬季新人大会優勝
- 環境科学部建築デザイン学科
平成24年度京都新聞大賞 教育社会賞
- 環境科学部建築デザイン学科
陶器教授・永井助教・学生グループ
SDレビュー2012展 朝倉賞
- 生活デザイン学科・建築デザイン学科有志
DSA空間デザイン奨励賞、協会特別賞学生賞
- 生活デザイン学科 4 回生 久保 愛美さん
筒井明日実さん、水谷真理奈さん
岸田奈津實さん、貞山真理奈さん
DSA空間デザイン賞 入選
- 近江楽座
平成24年度子ども若者育成・子育て功労者表彰
内閣府特命担当大臣賞
- 廃棄物バスターズ
第14回グリーン購入大賞 審査員奨励賞
- ウインドサーフィン部
関西選手権第2戦 団体優勝
関西選手権第3戦 団体優勝
- 弓道部
関西学生リーグ男子5部A優勝 4部昇格
- 吹奏楽部
吹奏楽コンクール（滋賀県大会・大学の部）銀賞
桃球（キンボールサークル）
第13回キンボールスポーツジャパン
オープンチャンピオンズカップ
チャンピオンの部 男子準優勝

着任

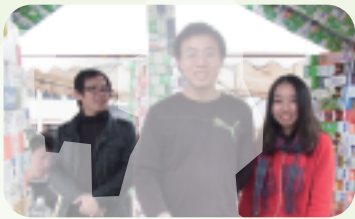


平成24年9月1日付
環境科学部 助教
田辺 祥子



平成24年9月1日付
人間看護学部 助手
渡邊 友美子

人事異動



県大イベントカレンダー

| | | | |
|-------|-----|-----|----------------------------------|
| 2月 | 4 | 月 | 調整期間(補講等)開始(～8日) |
| | 5 | 火 | 大学院入学試験(人間看護学研究科人間看護学専攻修士課程2次募集) |
| | 8 | 金 | 後期授業終了 |
| 12～18 | 火～月 | | 後期定期試験 |
| | 14 | 木 | 大学院入学試験(人間文化学研究科生活文化学専攻博士前期課程) |
| | 14 | 木 | 大学院入学試験(人間文化学研究科後期博士課程) |
| | 15 | 金 | 大学院入学試験(人間文化学研究科地域文化学専攻博士前期課程) |
| | 21 | 木 | 大学院入学試験(環境科学研究科環境動態学専攻博士前期課程) |
| | 21 | 木 | 大学院入学試験(環境科学研究科環境動態学専攻博士後期課程) |
| 21・22 | 木・金 | | 大学院入学試験(環境科学研究科環境計画学専攻博士前期課程) |
| | 22 | 金 | 大学院入学試験(環境科学研究科環境計画学専攻博士後期課程) |
| | 25 | 月 | 一般選抜試験前期日程 |
| <hr/> | | | |
| 3月 | 1 | 金 | 大学院入学試験(工学研究科先端工学専攻博士後期課程) |
| | 12 | 火 | 一般選抜試験後期日程 |
| | 20 | 水・祝 | 学位記授与式 |
| | 21 | 木 | 春季休業開始 |
| | 31 | 日 | リサイクル市 |
| <hr/> | | | |
| 4月 | 2 | 火 | 新入生友好祭 |
| | 4 | 木 | 入学式(午前)、新入生オリエンテーション(午後) |
| | 5 | 金 | 全学オリエンテーション、春季休業終了 |
| | 8 | 月 | 前期授業開始 |
| | 中旬 | | 定期健康診断(学部3回生以上、大学院生) |
| <hr/> | | | |
| 5月 | 7 | 火 | 月曜日の通常授業 |
| | 上旬 | | 第7回運動会 |
| | 中旬 | | 定期健康診断(学部1・2回生、大学院生) |
| | 下旬 | | 春期公開講座(毎土曜日 5週間予定) |
| <hr/> | | | |
| 6月 | 6 | 木 | 開学記念日(木曜日科目の通常授業) |
| | 22 | 土 | 湖風夏祭 |
| <hr/> | | | |
| 7月 | 6 | 土 | 体育会京都府立大学定期交流戦「京滋戦」 |
| | 15 | 月・祝 | 月曜日の通常授業 |
| | 20 | 土 | 補講日(金曜日科目) |
| | 24 | 水 | 調整期間(補講等/火曜日科目) |
| | 25 | 木 | 調整期間(補講等/水曜日科目) |
| 27・28 | 土・日 | | オープンキャンパス |
| | 29 | 月 | 調整期間(補講等/月曜日科目) |
| | 30 | 火 | 調整期間(補講等/木曜日科目)、前期授業終了 |
| | 31 | 水 | 前期定期試験開始(～6日) |
| <hr/> | | | |
| 8月 | 7 | 水 | 夏季休業開始、調整期間(集中講義)開始 |
| | 9 | 金 | 調整期間(集中講義)終了 |

あかりんちゅ:キャンドルナイト

THE UNIVERSITY OF SHIGA PREFECTURE

滋賀県立大学広報誌「県大jiman」は県大が持つキラリと光る「jiman」なところを紹介する広報誌です。

今回の特集は、卒業を迎える4回生にインタビューしました。さすがは4回生、しっかりと自分の考えを持って話す姿にたくましさを感じました。4年間の学びの中で身につけた力を存分に発揮して、それぞれの新しい道を歩んでほしいものです。皆さんのこれからの活躍に期待しています！

「県大jiman」をよりよい広報誌に育てていくために、今後もみなさんの協力をいただきたいと思いますので、ご意見・ご感想をお寄せください。

学生広報 スタッフ大募集

広報誌作成グループでは、県大jimanの作成に参加してくれる学生を募集しています。私達と一緒に、県大の素敵な「jiman」をしてみませんか。デザインの専門知識がなくても大丈夫です。興味のある方は、気軽にお問い合わせください。

いろんな人の話が聞けて取材は楽しい！

(人間文化学研究科1回生 田辺 京子)

協力して下さった方々、ありがとうございました！

(人間文化学部3回生 福島 清)

私も卒業！県大jiman楽しかったです！

(人間文化学部4回生 筒井 明日実)

私たちと一緒に県大jiman、作りませんか？

(人間文化学部3回生 宮川 侑子)

あっと言う間でしたが楽しかったです！

(人間文化学部4回生 中西 未紅)

湖風祭の文化は学生の主体性に支えられていたのですね

(環境科学部 柴田 裕希)

2年間お世話になりました。ありがとうございました！！

(環境科学部4回生 井上 はづき)

「卒業研究」を通じた成長が楽しみです

(工学部 河崎 澄)

あまり関わらずごめんなさい！皆さんに感謝！

(人間文化学部4回生 平井 菜々子)

色々なjimanもついに12号。ついに6年目！

(人間文化学部 佐々木 一泰)

県大は卒業してもjimanできる大学です！！

(人間文化学部4回生 渡邊 早)

卒業しても頑張ってください！いつでも母校へどうぞ！

(事務局 茶谷 忠宏)

滋賀県立大学広報誌「県大jiman」第12号

発行/滋賀県立大学広報委員会

編集/広報誌作成グループ

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2 5 0 0 Tel.0749-28-8200 Fax.0749-28-8470

URL: <http://www.usp.ac.jp/> E-mail: keiei_senryaku@usp.ac.jp

発行日/2013年1月31日

表紙デザイン

人間文化学部生活デザイン学科4回生 筒井 明日実

「県大jiman」は、環境にやさしい印刷を採用しています。この紙は、中性紙を利用しています。

